

〈 付 図 〉

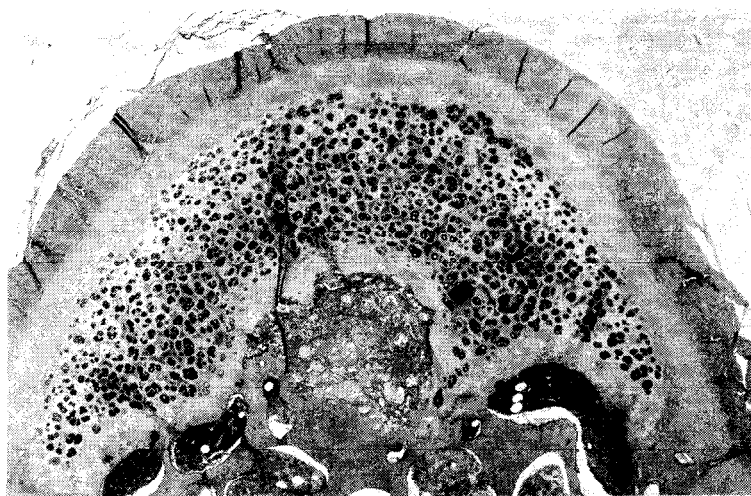


図 1

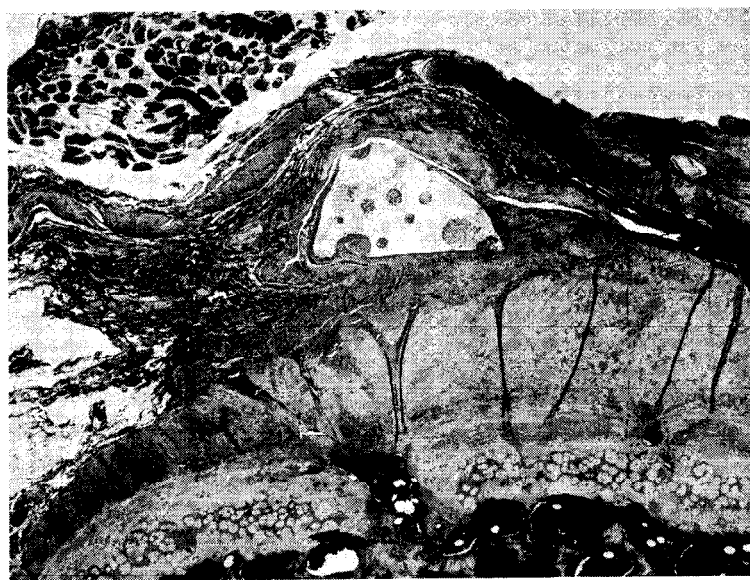


図 2

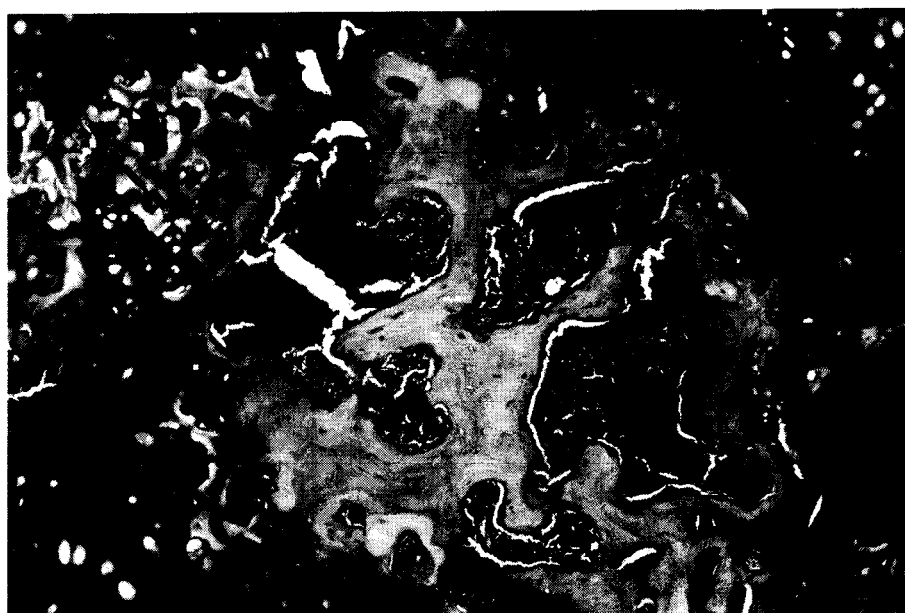


図 3

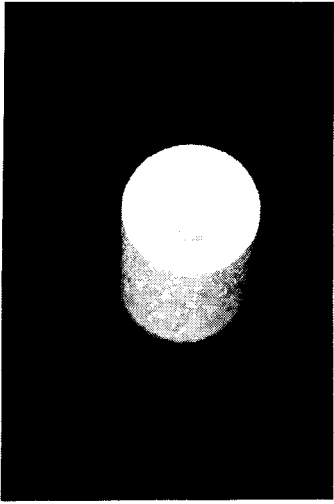


图 4

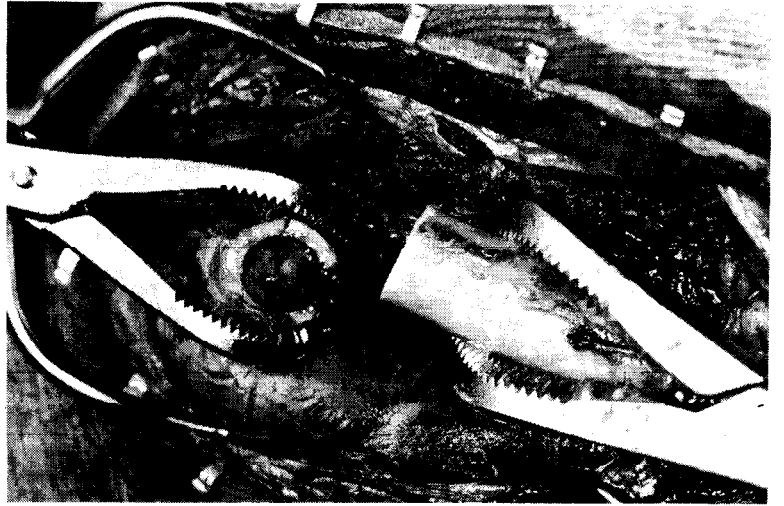


图 5



图 6

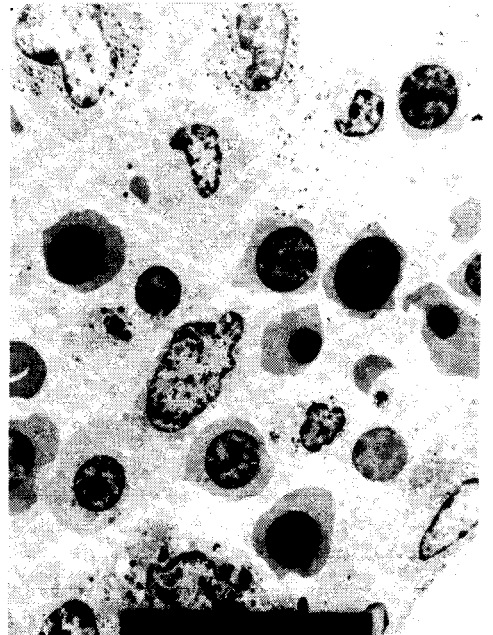


图 7

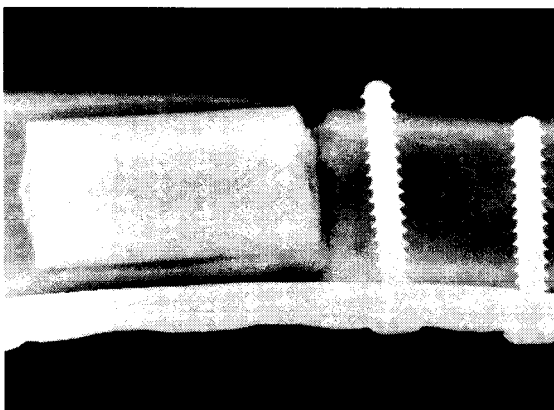


图 8

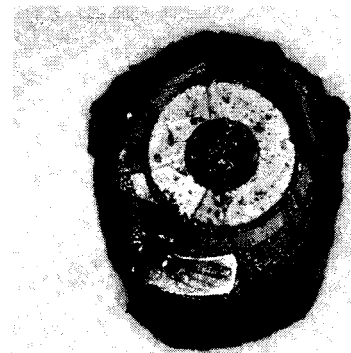


图 9

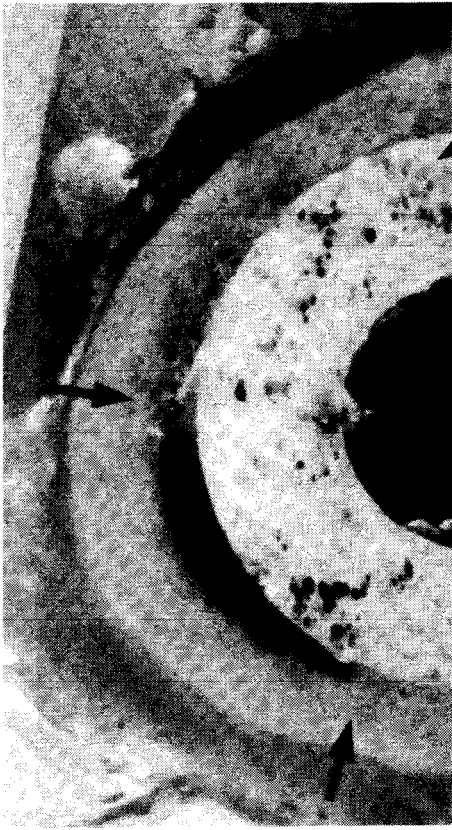


图10

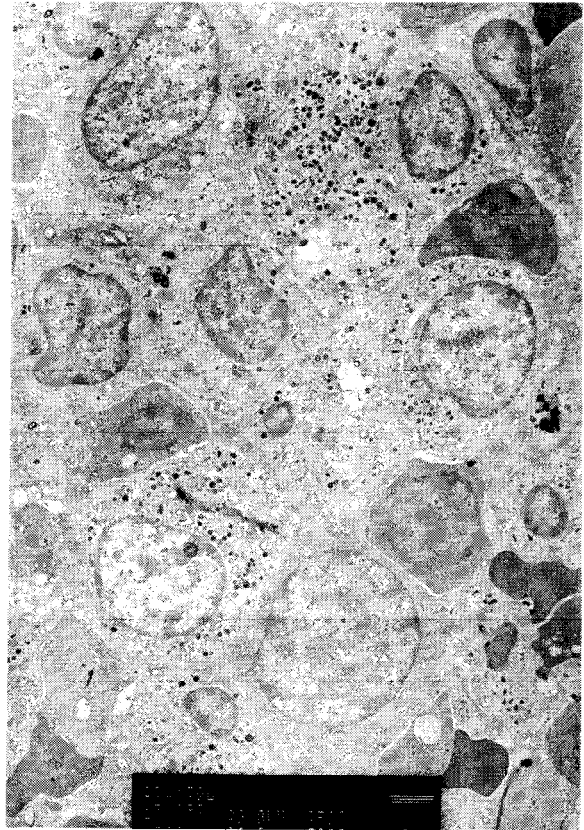


图11

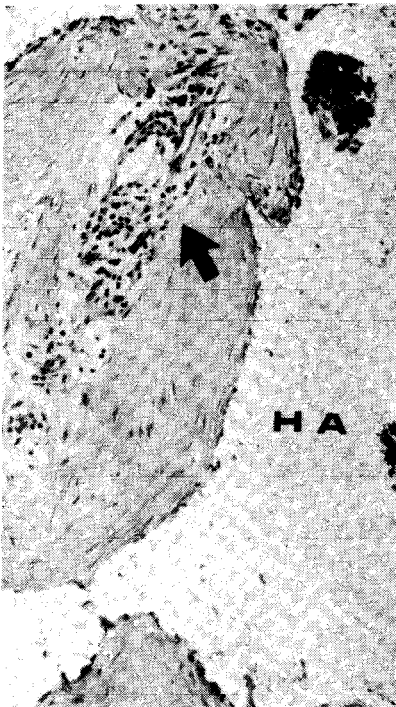


图12



图13

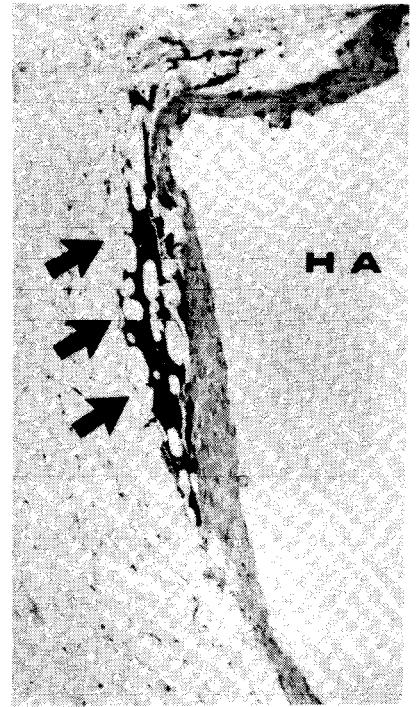


图14

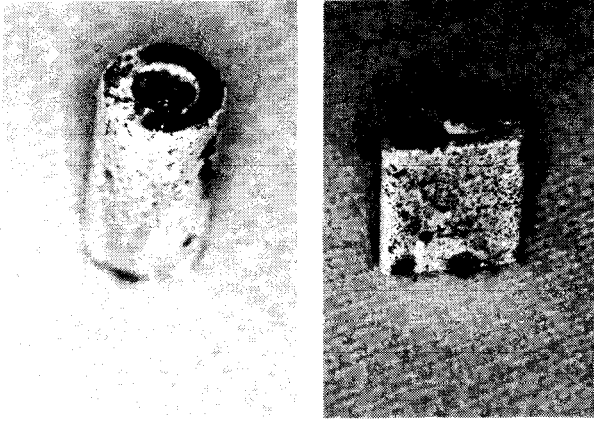


图15



图16

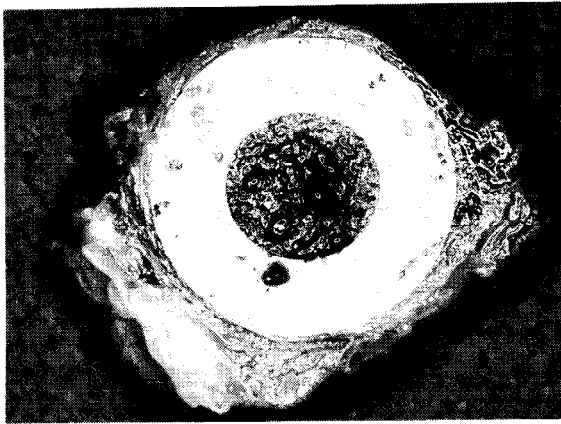


图17



图18

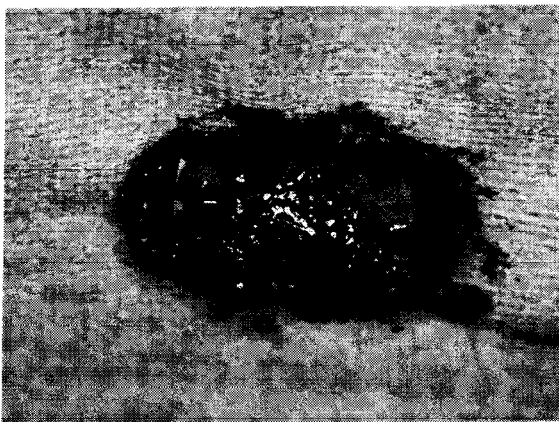


图19

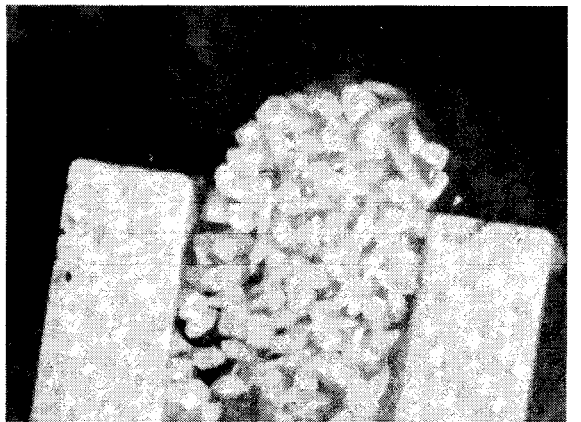


图20



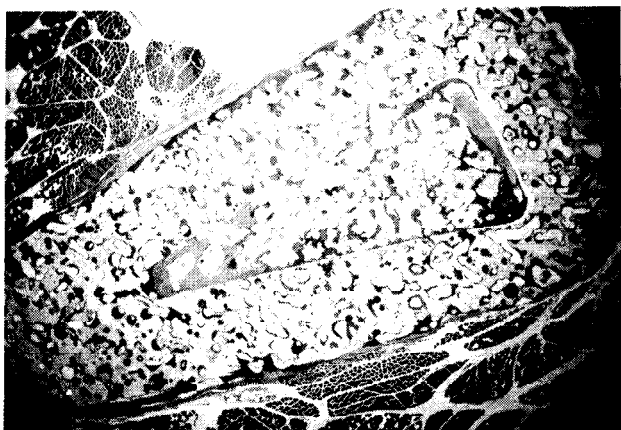


图21

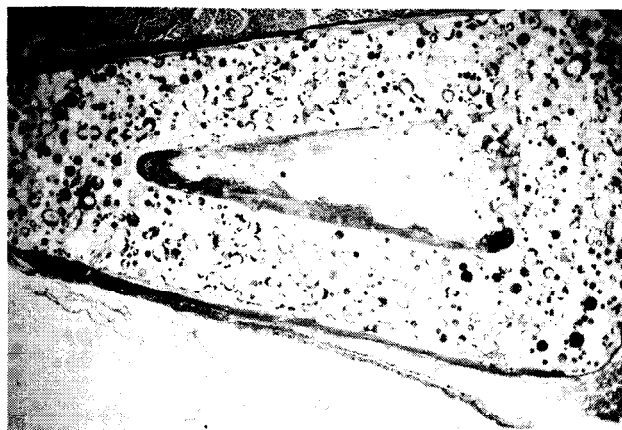


图22

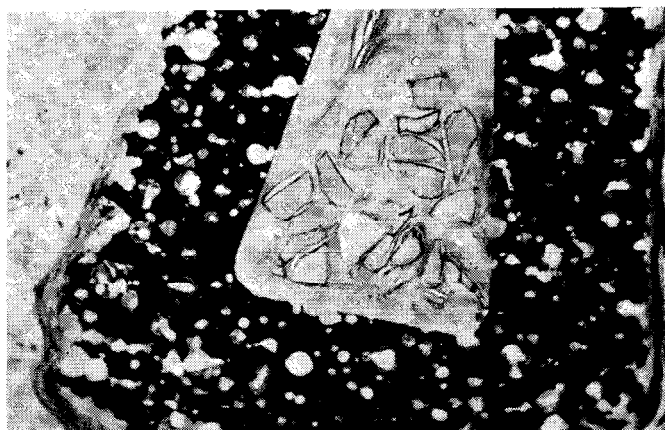


图23

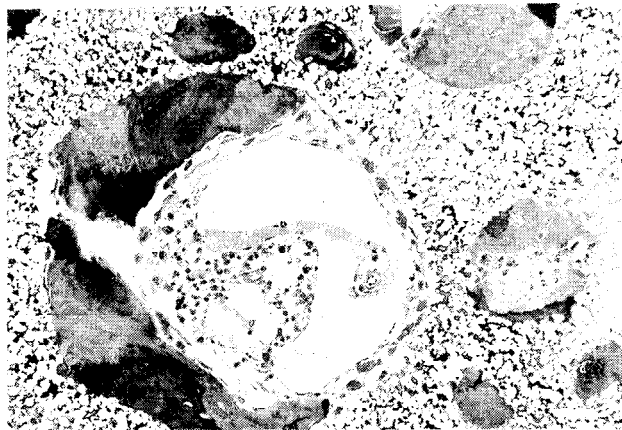


图24

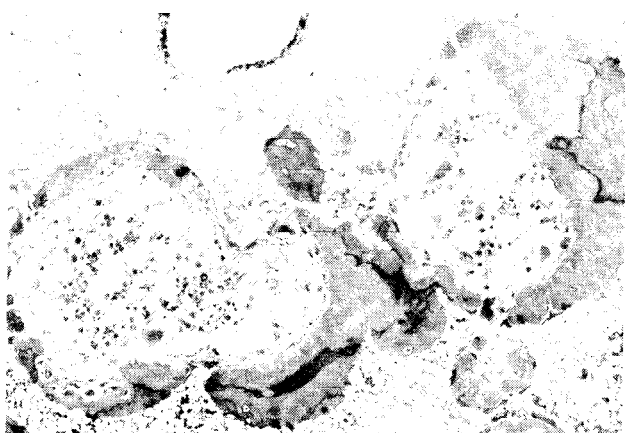


图25

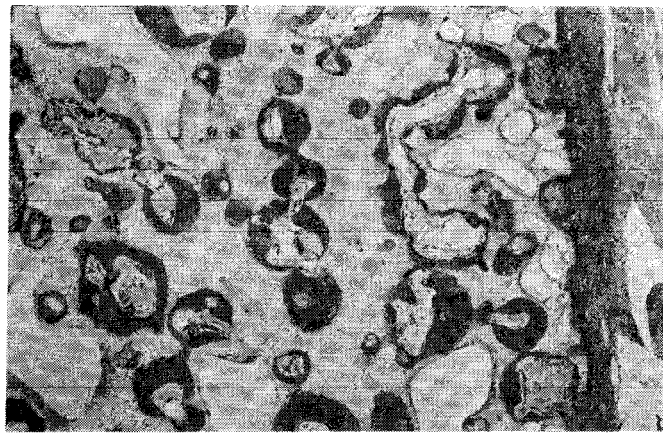


图26

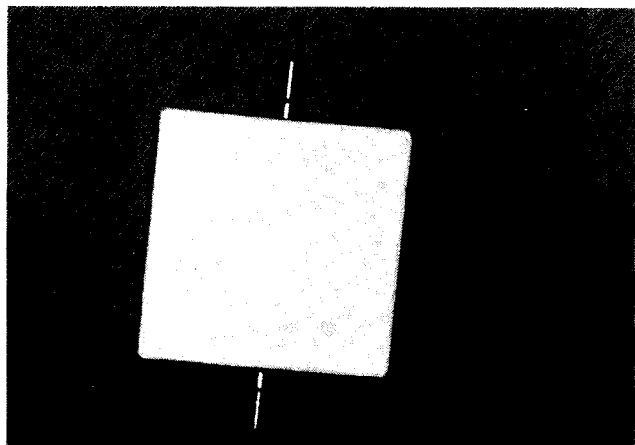


图27

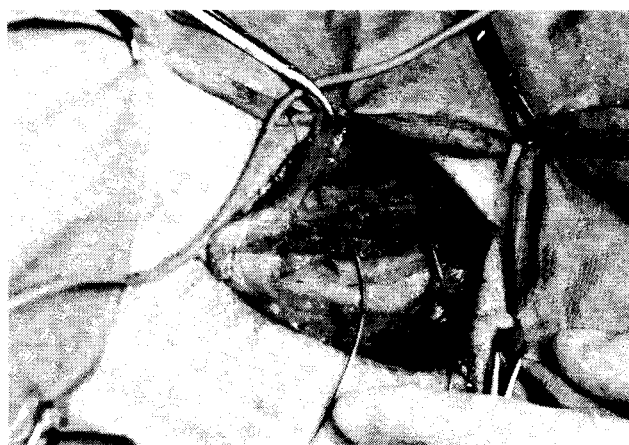


图28

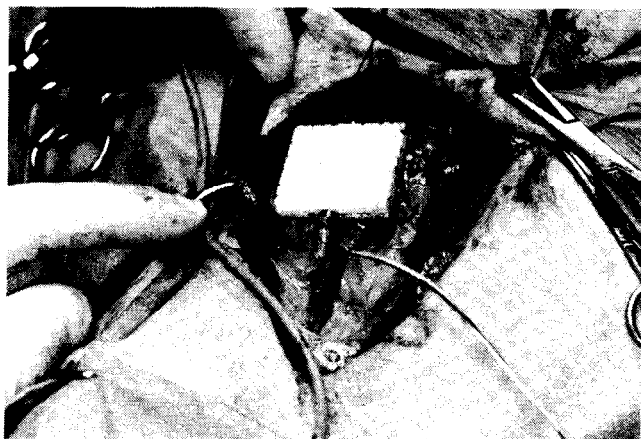


图29



图30



图31

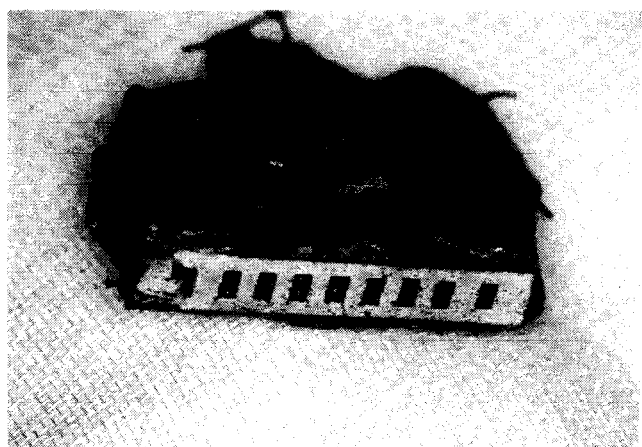


图32

## 図説明

- 図 1 肋骨軟骨・骨髓腔の境界部に植入了アパタイト（成犬、12か月経過時）ほとんど溶解し焼結体の形を留めていない。著明な軟骨の増生が認められる。
- 図 2 肋骨骨膜上のアパタイト（成犬、12か月経過時）著明な変化は認められない。
- 図 3 図 1 のアパタイトは軟骨内で化骨し溶解している。
- 図 4 40%気孔率の円筒状のアパタイト人工骨
- 図 5 成犬の大腿骨骨髓腔への移植
- 図 6 人工骨の移植
- 図 7 大腿骨髓のTEM像
- 図 8 移植部の人工骨のX線写真
- 図 9 大腿骨の移植部の断面
- 図 10 骨髓腔内の人工骨の非脱灰標本
- 図 11 円筒状のアパタイト人工骨内に形成された骨髓組織のTEM像
- 図 12 アパタイト多孔体内の造血巣の形成
- 図 13 高圧低温によるアパタイト緻密焼結体（stoichiometric）の筋肉内移植 著明な造血巣の形成が認められた。
- 図 14 高圧低温によるアパタイト緻密焼結体（nonstoichiometric）の筋肉内移植 著明な造血巣の形成が認められた。
- 図 15 円筒形と中空三角柱形の人工骨 中空部にアパタイト顆粒を填入し、ヘパリン添加の移植犬の静脈血に浸したものを移植した。
- 図 16 成犬の背筋部と成猿の大腿筋部に移植した。

- 図 17 摘出した人工骨の割面（成犬、2 か月経過時）
- 図 18 摘出した人工骨の割面（成犬、2 か月経過時）
- 図 19 周囲組織とともに摘出した人工骨  
周囲に極めて豊富な血管網の増生が認められた。
- 図 20 人工骨の長軸方向の割面
- 図 21 人工骨部の骨髓組織と骨の誘導（脱灰標本）  
成猿大腿部への移植後2年経過時 内腔にも骨の形成が著明に認められる。
- 図 22 人工骨部の骨髓組織と骨の誘導（脱灰標本）  
成猿大腿部への移植後1年経過時 内腔にも骨の形成が著明に認められる。
- 図 23 人工骨骨髓チャンバーの断面（非脱灰標本）  
多孔体のみ骨の形成が認められる。
- 図 24 アパタイトの多孔部骨髓組織（1年経過時）
- 図 25 アパタイトの多孔部骨髓組織（1年経過時）
- 図 26 多孔部の骨の誘導（2 か月経過時）
- 図 27 人工骨髓のチャンバー  
輸入管と輸出管を持ち、内部は迷路を形成している。
- 図 28 移植部の大腿動脈（成犬）
- 図 29 人工骨髓チャンバーの移植
- 図 30 摘出時の人工骨髓チャンバー（2 か月経過時）
- 図 31 輸出管の下流の動脈は2 か月後も閉鎖していなかった。
- 図 32 人工骨チャンバーの割面